

View this email in your browser



KeMoCoは4/19（火）に開館から1周年を迎え、開催中の「書を極める：鑑定文化と古筆家の人々」展もたくさんの方にお越しいただいています。

5月号では、「書を極める」展の見どころや、5/14（土）に開催されるシンポジウム「鑑定とは何か：江戸時代鑑定文化の再評価」についてお伝えします。

風薫る季節、1歳になったKeMoCoにもぜひお立ち寄りください。

KeMoCoの近況

【開催中】 センチュリー美術コレクション・助道文庫 書を極める：鑑定文化と古筆家の人々



開催中の「書を極める」展では、欠けた書物を分割した書的美術品「古筆切」や、筆跡鑑定を職業とする家として、江戸初期に誕生した古筆家に関する資料の展示が5展にわけて紹介されています。 （出品作品一覧はこちら）

学生企画として1枚の紙を2枚に分割する技術「相割ぎ」を体験できる「相割ぎデコラボ」、学生制作の音声ガイドなどもご利用いただけます。

書を極める：鑑定文化と古筆家の人々

会期 | 2022年4月18日（月）～6月24日（金） 11:00—18:00

*土日祝休館

*5月14日（土）、6月18日（土）は特別開館

*5月16日（月）、6月13日（月）は臨時休館

会場 | 慶應義塾ミュージアム・ commons 展示室（三田キャンパス東別館）

対象 | どなたでもご覧いただけます

費用 | 無料（事前予約制）

主催 | 慶應義塾ミュージアム・ commons、慶應義塾大学附属研究所助道文庫

協力 | 慶應義塾大学三田メディアセンター

KeMoCo Studio特別開室日

2022年5月6日（金）、5月14日（土）、5月25日（水）、5月31日（火）、6月6日（月）、6月18日（土）、6月24日（金）

※「書を極める」展のご予約が必要です。

※開室日時・時間は変更になる可能性がありますのでご注意ください。

書を極める展 ご予約はこちら

【予約受付中】シンポジウム | 鑑定とは何か：江戸時代鑑定文化の再評価



「書を極める」展に連動して、古筆家に加えて絵画の鑑定を主とした狩野派の活動にも視野を広げ、「鑑定」を江戸時代の文化現象の一つとして取り上げるシンポジウムを、5/14（土）に開催します。

鑑定は古い書画の時代を見分け、作者を推定し、その格付けを行う行為です。鑑定家が研究を重ねた鑑定結果は、必ずしも真実でなくても、法則や理由があります。また、職務の中で蓄積された根拠類は、今は現存しない作品の存在を教えてくれます。

鑑定を一つ一つの結果だけではなく、それらが導き出された理由や過程を含めた、文化現象としてとらえることで、今まで見過ごされていた事実が見えてくるのではないのでしょうか？

鑑定を切り口に、江戸時代の書画をめぐる活動への理解を深めるとともに、鑑定の研究から生まれる可能性や課題を探ります。

「書を極める」展シンポジウム | 鑑定とは何か：江戸時代鑑定文化の再評価

会期 | 2022年5月14日（土） 13:30-16:15 (13:00-開場)

会場 | 慶應義塾大学三田キャンパス東館 6F G-Lab

対象 | どなたでもご覧いただけます（先着順（定員になり次第締切）／事前予約制）

費用 | 無料

登壇者 |

廣香伸彦（出光美術館主任学芸員）／「狩野派の絵画鑑識——鑑（きわめ）の世界に偽作多く、疑ひの世界に真理多し」

中村健太郎（帝京大学短期大学人間文化学科学講師）／「福礼（きわめふだ）を極める」

佐々木孝浩（慶應義塾大学附属研究所助道文庫教授）／「『でたらめだ』なんていひのないで：筆跡鑑定というお仕事」

司会：松谷実美（慶應義塾ミュージアム・ commons 専任講師）

※当日は「書を極める」展の特別開館日です。シンポジウムの参加費は「書を極める」展をご観いただけます。

当日受付も可能です。種々な入館を希望される場合は事前予約をお申し込みし。

※シンポジウム会場（三田キャンパス東館）と「書を極める」展示会場（三田キャンパス東別館）は異なりますのでご注意ください。

シンポジウム「鑑定とは何か：江戸時代鑑定文化の再評価」

展覧会キャラクター「もとかずくん」



「書を極める」展のキャラクター「もとかずくん」が本展のあちこちに隠れています。

もとかずくんは、近代までよく参照されていた公家の系図集「知譜拙記（ちしゅせき）」に挟まっていた、公家東園基量（もとかず）（1653-1710）の某から生まれました。本展で出品されているほか、相割ぎ体験フアンリレーション「相割ぎデコラボ」やInstagramのフィルター、各SNSなどで活躍しています。



古筆家や古筆に関する書籍が並ぶ「鑑定」や、相割ぎ体験、ARフィルターをつかって楽しめるRoom2

本展で出品されているほか、相割ぎ体験フアンリレーション「相割ぎデコラボ」やInstagramのフィルター、各SNSなどで活躍しています。

『三田評論ONLINE』で詳しく知る

「我に触れよ」展記録集が刊行されました



この度、『我に触れよ（Tangle me）：江戸時代に修復を考える』展 記録集を刊行しました。

2021年10月から12月に慶應義塾大学アート・センターおよびKeMoCoで開催された展覧会から、ワークショップ、シンポジウムなどの会期中のイベントまで、レポートを掲載しています。アート・センターとKeMoCoにて1冊2,200円で販売も行っております。ご希望の方は是非この機会にお求めください。

「我に触れよ」展記録集

三田芸術学会×KeMoCoシンポジウム「感覚の拡張と新しい美学」アーカイブ配信

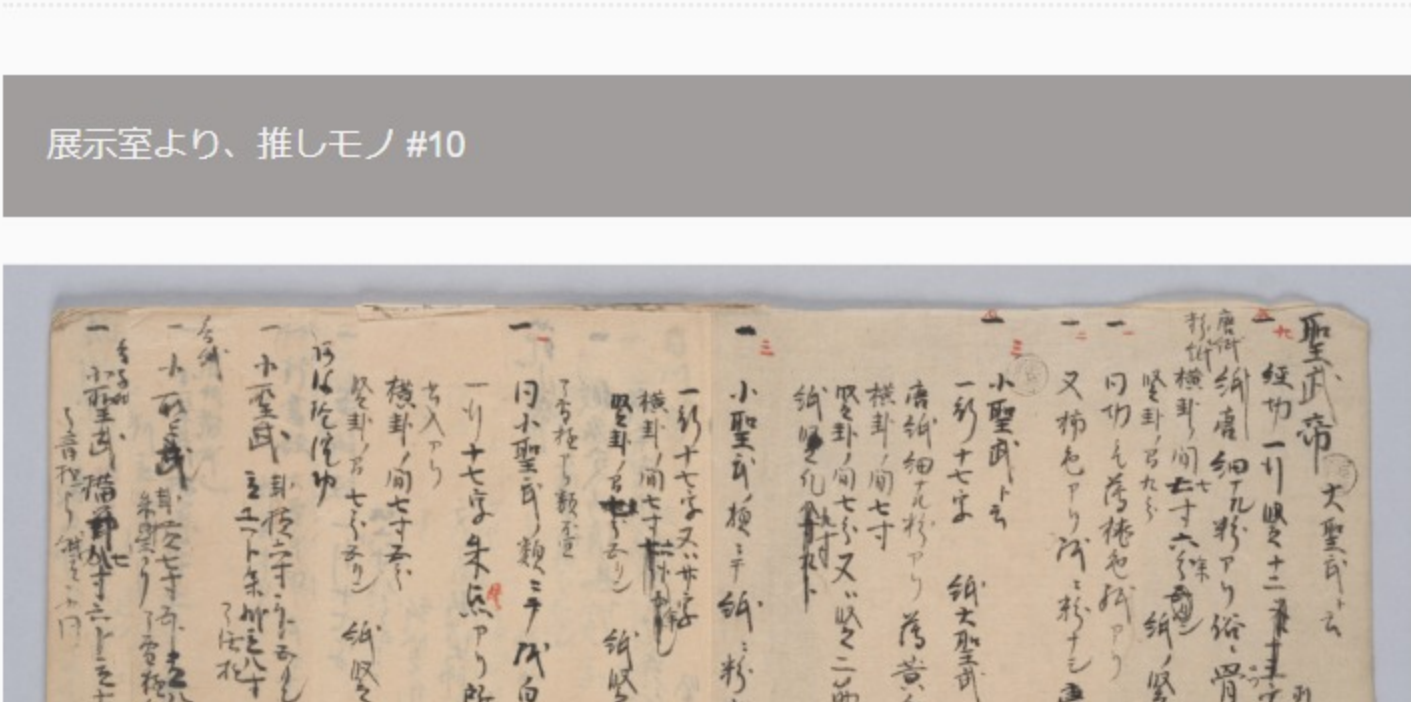
25（土）、三田芸術学会×KeMoCo シンポジウム「感覚の拡張と新しい美学」をオンラインで開催しました。

シンポジウムでは、柄沢祐輔氏「アルゴリズムによるネットワーク型の建築とその美学的可能性」、牛場潤一氏「脳の拡張はどこまで進んだか？」の2つの講演とそれに続くディスカッションを予定していましたが、柄沢祐輔氏の講演は、柄沢氏の急逝を受け、残された発表資料に基づいて、田口穂子氏（東京大学文学部・東洋学・東アジア言語学）に代理でご発表をいただきました。深い悲しみの最中ににもかかわらず、柄沢氏の研究と実践を伝えて下さった田口氏に感謝いたします。

本シンポジウムはYouTubeでアーカイブ配信を行っております。



展示室より、推しモノ #10



『写本名集』 序9頁、江戸後期（19世紀）、慶應義塾（センチュリー美術コレクション）

古い書物の断簡である古筆切（こひきぎり）を、筆者とされる人物別に整理し、個々の名称や作品名、紙の情報などについて、簡潔に説明したリストが「古筆名集巻（こひきぎりしゅう）」です。古筆コレクションの必須の資料ですが、筆跡鑑定を職業とする古筆家（こひきぎり）たちにとって不可欠のものでした。様々な写本や数種の写本で、正正式の書名も、欠冊も認められています。見るからに粗末な仮綴の写本で、正式の書名も、欠冊も認められています。内容の詳細さは他に類をみません。特に寸法に関する情報が豊富で、貼紙・書入れ・訂正なども目立ちます。その鑑定を行った古筆家の略称と思われる朱墨の書き入れや、仮綴不明の墨印や朱墨の誤数など、古筆家ならではの情報として注目されます。この本はまさに、古筆家で集積された膨大な古筆切情報のデータベースなのです。

佐々木 孝浩（慶應義塾大学附属研究所助道文庫 教授）

『写本名集』

空き地

はじめまして。今春より新しく学芸員補としてKeMoCoスタッフの一員に加わりました、山田です。先月14（土）日に「書を極める：鑑定文化と古筆家の人々」展が開館し、翌19日をもってKeMoCo1周年を迎えます。『書を極める』展では、古筆切や福礼をはじめとした古筆、屏風、掛軸など様々な形態の資料が展示室でご覧いただけます。筆跡鑑定を生業として、書画の知識がただでなく、鑑定のために当時の人々が使っていた仕事道具というべき資料も展示していますので、当時の文化に思いを馳せつつ自分だったらどうしたら？と考えたみるのはいかがでしょうか。

開館から1年を経て、2年目を迎えたKeMoCoですが今年も皆さんにオブジェクトを通じて体験を提供し、「空の地」として皆さんに気軽に立ち寄り合ってもらえるような場所づくりを目指していければ、と思います。新学期で何となく忙しく日々の中で、ふと立ち止まりたくなった時に、ぜひ立ち寄っていただければ幸いです。

山田 桂子（KeMoCo学芸員補）

お知らせ

三田でご覧いただける展示

『今宵逢ふ文（ふみ）みなうつくしき』慶應義塾図書館新収資料展2022-1

【前期／洋書展示】3月28日（月）-4月30日（土）

【後期／和漢書展示】5月9日（月）-6月11日（土）

慶應義塾図書館 1階展示室

『スタンディング・ポイントⅢ ハンネ・ダルボフェン』

5/9（月）-6/24（金）

慶應義塾大学アート・センター

KeMoCo Voiceでは皆様のご意見・ご感想を募集しております

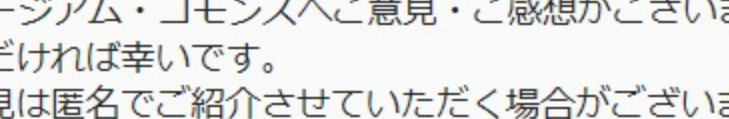
KeMoCo Voiceやミュージアム・commonsへご意見・ご感想がございましたら、以下のアドレスまでお寄せいただければ幸いです。

いただきましたご意見は匿名でご紹介させていただく場合がございます。紹介をご希望でない場合はその旨をお書き添え下さい。

> ご意見・ご感想はこちら

次回のKeMoCo Voiceは2022年6月に配信予定です。

過去のニュースメールはこちら



Copyright © 2019-2022 慶應義塾ミュージアム・commons Keio Museum Commons

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

TEL 03-5427-2021 Fax 03-5427-2022

お問い合わせ

KeMoCo Voiceの配信停止をご希望の方はこちら

This email was sent to <Email Address>

unsubscribe from this list update subscription preferences

慶應義塾ミュージアム・ commons 2-15-45Mita Mitato-Ku, Tokyo 108-8345 Japan

